

Chapter
2

第2章
都市・里の将来像



第2章 都市・里の将来像

1. 都市・里の将来像と目標

平成 19 年 2 月に市民から提出された「地域まちづくりの提案」を基調に、まちづくりの課題、第 2 次山梨市まちづくり総合計画における山梨市の将来像を踏まえ、都市・里の将来像と目標を次のように設定します。

■山梨市の将来像とビジョン

「第 2 次山梨市まちづくり総合計画」より

<山梨市の将来像>

「誇れる日本を、ここ山梨市から。」

<5つのビジョン>

1. 四季折々の色合いを大切に、にぎわいのある山梨市
2. 市民が手をつなぎ、教育と文化を育む山梨市
3. おなかの中から一生涯安心の山梨市
4. 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市
5. 市民が主役、役所が支える山梨市

■都市・里の将来像と目標

<都市・里の将来像>

活力と文化を育む樹園共生都市 山梨市

都市・里の賑わい・交流を創造し、誰もが安心していつまでも暮らせる生活の実現に向けた持続可能なまちづくりを目指します。

<都市・里づくりの目標>

目標1 人々が集まり、賑わいを創出する活力あるまちづくり

山梨市駅周辺を中心拠点（中心市街地）の活性化をはじめ、地域資源を生かした交流の促進、果樹農業や観光、商工業などの地域産業の活性化を図り、人々が集まり、交流し、賑わいを創出しながら、持続的発展を続ける活力あるまちづくりを目指します。

目標2 安心・快適に住み続けられるまちづくり

災害に強いまちづくり、高齢者等に配慮した人にやさしい福祉のまちづくり、環境に配慮したまちづくり、身近な生活環境の整備充実を図り、誰もが安心・快適に住み続けられるまちづくりを目指します。

目標3 豊かな自然や固有の歴史文化と共生し、継承するまちづくり

山岳や高原、渓谷等の豊かな自然、日本遺産に象徴される樹園景観、社寺や古民家、身近な道祖神や祭り等の歴史文化資源など、本市固有の地域資源を大切に守るとともに、まちづくりへの活用を図り、次代に継承するまちづくりを目指します。

目標4 人々の交流を育む協働のまちづくり

本市では学校を核に、世代を越えた地域コミュニティ活動が活発に行われています。こうした時間をかけて育まれてきた人々のつながりを大切に継承するとともに、世代間の交流や新旧住民の交流を育み、地域コミュニティとしての一体感や絆を培っていく市民・行政・事業者等の協働によるまちづくりを目指します。

2. 将来の都市・里の構造

(1) 将来の都市・里構造の考え方と形成方針

将来の都市・里の構造については、次のような考え方に基づいて形成方針を設定します。

■ 基本的な考え方

豊かな自然と風土、美しい景観や眺望など、特色ある大地の構造を生かし、コンパクトで一体感のある集約型の都市・里構造の形成を目指します。

本市は、市域の8割以上が森林であり、北西部は標高 2,000m 級の山々が連なり、渓谷や沢が入り組んだ山岳森林地域となっています。

また、市内を笛吹川、重川、日川が流れており、三川が合流する南部の低地部は広大な扇状地で、豊かな自然と美しい景観、眺望に恵まれた起伏に富んだ大地の構造を土台に、市街地や集落地、樹園地が形成されており、コンパクトでわかりやすい都市・里の構造を形成しています。

都市・里づくりの目標に掲げた「活力と文化を育む樹園共生都市 山梨市」の実現に向け、本市の特色ある大地の構造を生かし、多彩な都市機能や拠点が相互に連携し、魅力を高めあう、コンパクトで一体感のある集約型の都市・里構造（コンパクト・プラス・ネットワーク）の形成を目指します。

■ 将来の都市・里構造の形成方針

【都市・里の拠点】

中心拠点をはじめ、都市の活力や人々の交流を促す多彩な拠点づくりを進めます

山梨市駅、市役所周辺については、計画的な市街地整備、中心市街地の活性化、都市機能の強化と魅力づくりを進め、本市の顔にふさわしい活力ある中心拠点の形成を目指します。

そのほか、中心拠点を補完する副次拠点、地域の生活の拠点となる地区拠点やコミュニティ拠点、恵まれた地域資源を生かした観光レクリエーション拠点や歴史文化拠点など、多彩な拠点の育成と相互の連携（ネットワーク）を図り、都市全体の活力を高めていきます。

【骨格道路網と主要な交流軸】

周辺都市や地域間、拠点間を結ぶ骨格道路網の強化と、交流軸を形成します

新山梨環状道路へのアクセス強化、リニア中央新幹線山梨県駅の開業を見据えるとともに、周辺都市をはじめ、地域間及び多彩な拠点間の交流や連携を強化するため、西関東連絡道路（高規格道路）及び県都甲府市と秩父地域を結ぶ国道 140 号を骨格に主要な都市計画道路など、骨格道路網の再編・強化を促進します。

また、道路整備と併せて、国道 140 号、西関東連絡道路を骨格とした広域連携軸、本市の市街地の骨格的な交流の軸となる都市軸、中心拠点と地区拠点を結ぶ地区連携軸、地域の生活の中心となっているコミュニティ拠点を結ぶコミュニティ連携軸など、多様な交流の軸の形成を図ります。

【土地利用エリア】

コンパクトな市街地と地域の特性に応じたバランスのとれた土地利用の形成を図ります

本市の特徴的な地形構造や現況の土地利用の特性を踏まえ、「市街地エリア」をはじめ、樹園と共生し良好な居住環境の誘導を図る「樹園居住エリア」、良好な農業環境の維持・保全を図る「樹園里山エリア」、豊かな自然環境を有する「山岳森林エリア」の4つのエリアに区分し、各々の特性に応じた計画的かつバランスのとれた土地利用の形成を図ります。

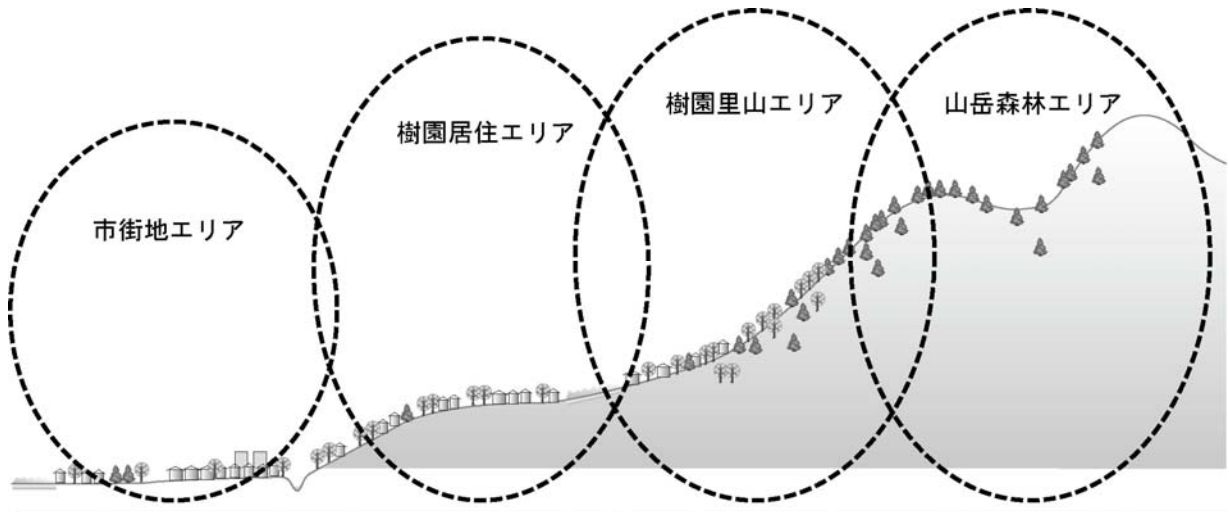
(2) 将来の都市・里構造の設定

将来の都市・里構造の形成方針を踏まえ、将来の都市・里構造を次のように設定します。

■将来の都市・里構造の設定

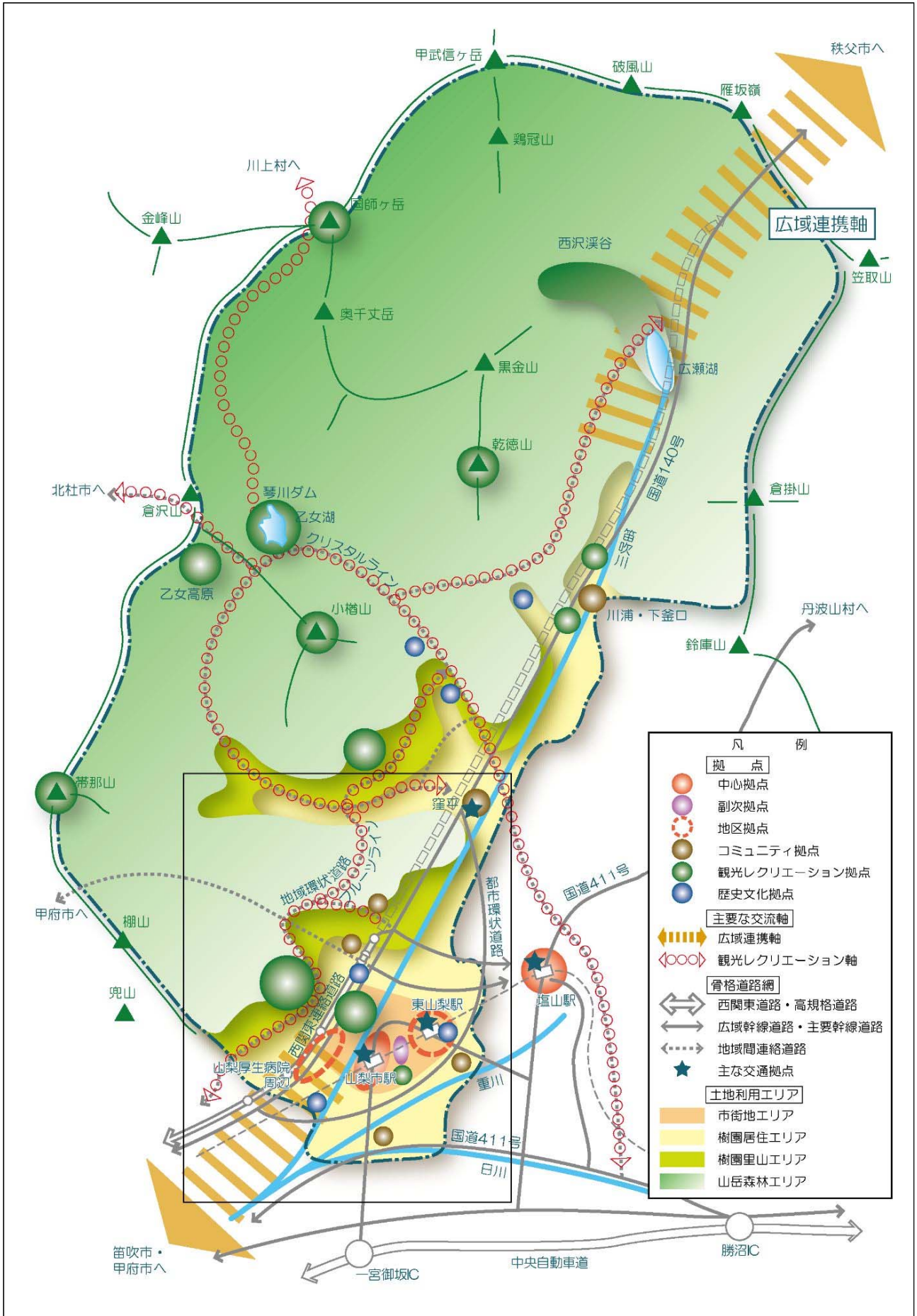
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中心拠点 ～中心的な都市機能が集積し、賑わいと利便性の高い中心市街地～ (山梨市駅周辺、市役所周辺、小原の商店街など) ■ 副次拠点 ～中心拠点を補完する副次的な役割が期待される新市街地(市街地整備の検討中)～ (通称)南反保地域) ■ 地区拠点 ～生活利便施設が集積する地域生活拠点～ (東山梨駅周辺、山梨厚生病院周辺) ■ コミュニティ拠点 ～旧町村の中心部や集落等の拠点～ (日川、後屋敷、八幡、岩手、窪平、川浦・下釜口等の主要な集落地) ■ 観光レクリエーション拠点 ～本市の主要な観光やレクリエーションの拠点～ (笛吹川フルーツ公園、万力公園、石森山つつじ公園、帯那山、保健農園ホテルフフ山梨、乙女高原、乙女湖周辺、小楮山、大弛峠・夢の庭園周辺、広瀬湖周辺、西沢渓谷、清水渓谷(一之釜)、三富スポーツ広場、) ■ 歴史文化拠点 ～本市を代表する歴史・文化資源を有する拠点～ (根津記念館周辺、清白寺・連方屋敷周辺、窪八幡神社周辺、中牧神社周辺、杣口金桜神社周辺、徳和地区)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主要な交流軸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域連携軸 ～広域的な都市間の連携を担う都市活動の骨格となる軸～ (西関東連絡道路(高規格道路)、国道140号(雁坂みち)、国道411号) ■ 都市軸 ～市街地の賑わいと交流を促し、活性化の推進を担う骨格軸～ (都)根津橋通り線、(都)市役所前通り線、(都)山梨市駅南線、(都)山梨市駅東山梨線) ■ 地区連携軸 ～中心拠点と地区拠点を結ぶ軸～ (東山梨駅周辺～(都)山梨市駅東山梨線、山梨厚生病院周辺～国道140号、市道落合正徳寺線) ■ 観光レクリエーション軸 ～樹園居住エリアや樹園里山エリアの観光・交流・連携を担う軸～ (フルーツライン、県道塩平窪平線、市道野背坂線など) ■ コミュニティ連携軸 ～コミュニティ拠点と中心拠点を結ぶ軸～ (公共交通により連携を図る軸) ■ 水と緑の景観軸 ～中心拠点や副次拠点から公園、河川を結ぶ水と緑の景観軸～ (笛吹川、万力公園、市役所前通り線など)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">骨格道路網</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広域幹線道路 ～広域的に都市間を連絡する道路～ (西関東連絡道路(高規格道路)、国道140号(雁坂みち)、国道411号) ■ 主要幹線道路 ～市街地周辺の骨格を形成する幹線道路(都市計画道路等)～ ((都)山梨市駅東山梨線、(都)根津橋通り線、(都)市役所前通り線、(都)石森山横通り線、(都)北中学校東通り線、(都)亀甲橋通り線、(都)山梨市駅南線、(都)加納岩小学校前通り線、(都)加納岩小学校西通り線など) ■ 地域間連絡道路 ～樹園居住エリアや樹園里山エリアを結ぶ主要な道路～ (フルーツライン、県道塩平窪平線、市道野背坂線など) ■ 主な交通拠点 ～市内の主要な交通結節点～ (JR中央本線山梨市駅、東山梨駅、窪平の交通結節点)
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">土地利用エリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市街地エリア ～コンパクトに集約化した計画的な市街地の形成を図るエリア～ (市南部の現行用途地域を中心とした既成市街地及び集落地周辺) ■ 樹園居住エリア ～良好な樹園環境と共生する集落地の維持保全を図るべきエリア～ (山梨地域の郊外、牧丘地域及び三富地域の農業集落地域) ■ 樹園里山エリア ～良好な樹園環境や里山の維持保全を図るべきエリア～ (中山間地域の農業・里山が分布する地域) ■ 山岳森林エリア ～豊かな自然の保全と活用を促進すべきエリア～ (市北部山岳地域の国立公園区域、保安林等の森林区域など)

■主な土地利用エリア（イメージ）



・フルーツラインと斜面地に広がるの農地

■山梨市の将来の都市・里構造（市全体）



■山梨市の将来の都市・里構造 (都市計画区域周辺)





・西保の切妻民家群